



増田塾長方式

模擬試験他 ABC解答法

講座

【模擬試験などの際、以下の要領で効率の良い解答を行うんだ】

1) いきなり問題を解き始めるバカもんは、すでにその時点で負けている！

開始と同時に、最初の問題から解いていく事ほど無計画な行為はない。開始の合図が出たら、まず30秒間は試験全体を見渡し試験を解く優先順位をつける。これこそ受験者のプロの技だ。また隣の奴に無言のプレッシャーを与える事もできる。

2) 大問または問題のグループ別に、解答の優先順位をつけるんだ(ABC順)

大問または大きなグループ毎に問題を以下のグループに3分類する。分け方は厳密でなくともよい。

A問：問題の解き方も理解していて自信がある **B問：解いたこともあり、時間をかければ解くことができる**
C問：問題傾向などに見覚えがなく、解く自信があまりない

1) で説明した30~45秒間で、問題番号横などに大きくA~Bの記号をいれて分類すること。

3) まずは自信のある、A問、B問グループを片付ける。解ける問題を優先せよ

A問グループを全問、その後B問グループを全問の順番で問題演習する。この際A問ほどケアレスミスは出やすい。十分注意して補助式などは絶対消さずに残す事。A/B問グループは見直してナンボの問題である。



4) 【重要な事】いったんA/B問が終われば、そこで必ず見直しをする

重要なのは確実にその試験で得点できるところを正解する事。ケアレスなどで点数を落としては意味がない。またC問グループで正答を出すことは難しいため、先にA/B問グループの問題の検算や見直しを行う事。これだけでこの試験に大きく勝てなくても、「負けない」試験結果になるから心配しなくていい。

5) その後C問グループに取り掛かる。ここから先、1問でも正解があればラッキー

もともとC問グループにしたのだから、恐らく苦手が解き方がわからない問題だろう。それだけにじっくりとその中で1問でも正解したらいいつもり、または部分点をもらうつもりで解くこと。同じC問グループでも、その中で得意と苦手もあるだろう。改めて優先順位を設定してもいいと思う。

6) C問グループの見直しを行い、時間がある限りA問B問の解き直し見直しを行う

どうしても解けない問題だけが残ったら、改めてC問で解答済の見直しや検算を行う。その後改めてA/B問グループの見直しや検算を行う事。試験は最後の1秒まで有効に使う事。周りの人間の行動など気にするな。集中して最後の1秒まで見直しと検算などに時間を使い、受験者のプロとして後悔のない試験にするんだぞ。

【塾長より注意事項】

- *上記の方式は、いきなりできるものではない。過去問演習時や模擬試験、定期試験、小テストにいたるまで何度も繰り返す事。10回も試していけば、大体の勘がつかめるだろう。
- *A問とB問の区別はしやすいが、C問の区別は難しい。問題を見て5秒以内に「こうしたら解けるかも」という直感が出なければC問グループに入れていいだろう。
- *どんな試験でも、カッコつけるな。ガムシヤラになれ！そのためこうした優先順位などを駆使して1点でも多く正解を出すんだ。この優先順位のつけ方は、みんなが大人になって仕事をしはじめた時に、必ず役にたってくる。諸君の試験成功を心から祈っているぞ。

